



SAP Ariba 

機能の概要

支払領収書に関する取引サポート (“*complemento de pago*”)

Francisco Bonett, SAP Ariba
一般提供予定: 2020 年 8 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: 支払領収書に関する取引サポート

今までの課題

現在、cXML ドキュメントでの支払領収書は Ariba Network (AN) でサポートされていません。最初のソリューション (NP-13923) は、AN UI を使用してドキュメントをアップロードし、検証のために EDICOM に送信して、電子メールを使用してバイヤーに配布する方法で構築されました。

対象ソリューション

- Ariba Network/グローバルゼーション
- Ariba Network メキシコ向けタックスインボイス処理のアドオン

SAP Ariba で問題解決

- Ariba Network 上で、cXML としてこのドキュメントの種類がサポートされるようになりました。サポート対象には、義務付けられている CFDI 形式でサポートされるすべての関連フィールドが含まれます。
- 新しいビジネスルールにより、バイヤーがこのフローを有効化することができるようになりました。
- SAP Ariba Cloud Integration Gateway を使用した連携ソリューション (IG-16917) により、メキシコでのこの取引についてバイヤーの連携がサポートされます。
- このフローにより、バイヤーからサプライヤへの支払領収書の状況更新 (承認済み/却下済み) の通知もサポートされます。
- バイヤーの新しいレポート機能では、支払領収書の受領に関するレポートも利用できます。
- 既存の請求書レポートが強化され、支払領収書のない請求書が識別することができます。

関連情報

この機能は、該当するソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的に有効になりますが、**お客様が設定する必要があります。**

- ドキュメントの種類「支払領収書」のサポートは、お客様が設定することができます。
- ビジネスルールの有効化およびこのドキュメントの種類に追加されるルーティング設定により、Ariba 側でのバイヤーの主な処理は以前のままです。

導入の難易度
対象エリア

● ハイタッチ
● グローバル

主なメリット

- バイヤーは、包括的なエンドツーエンドソリューションで、単一のチャンネルにより請求書と支払領収書を処理できます。これにより、特定のドキュメントの種類について既存の規則に従ってサードパーティでソリューションを管理する必要がなくなります。
- Ariba Network に状況の更新を送信してやり取りを完了できます。
- 状況の更新を通知することで、サプライヤに対する可視性が高まります。
- 今回新しく導入されるドキュメントの種類 cXML は一般的なもので、ほかの国のお客様にもご利用いただけます。

前提条件と制限事項

EDICOM 側:

- 設定は必要ありません。

Ariba Network 側:

- タックスインボイスと同様にサプライヤおよびバイヤーを適切に設定する必要があります。
- 両者間には、支払領収書がアップロードされている有効な取引関係がある必要があります。

制限事項:

- サプライヤはレポートを使用できません。
- これらのドキュメントは、Ariba Network の UI ではまだ表示されません。
- [配送待ち] チャンネルを使用した連携はサポートされません。

機能の概要

説明: 支払領収書に関する取引サポート

支払領収書

- 一般的に支払領収書は、製品またはサービスの全額または一部支払いの証明として、サプライヤからお客様（バイヤー）に与えられるドキュメントです。
- 支払の領収書として参照され、支払が指定の販売に入力された後に作成されます。支払金額は、販売の請求書に記載されている全額または一部金額になります。
- 支払領収書は、サプライヤおよびバイヤーの両者にとって有益です。販売プロセスのコミュニケーションにおいて追加のドキュメントとしても使用されます。
- 1 つの領収書を 1 つまたは複数の請求書にリンクすることができます。これにより、サプライヤは多数の請求書を 1 つのドキュメントで同じバイヤーに関連付けることができます。更新のために、さらに別の支払領収書にリンクすることもできます（置き換え/キャンセル）。
- 支払領収書の使用は、[メキシコで 2018 年 8 月 31 日より義務付けられ](#)、メキシコ国税庁（SAT）により「[Complemento de pago](#)」（支払補足）と名付けられています。
- 該当する支払を受領した直後の月のカレンダー日の 10 日までに、サプライヤが支払領収書を完了する必要があります。これに従わないと、ペナルティーが課せられる場合があります。
- バイヤーは支払領収書を保存し、会計監査に備えておく必要があります。

通常、支払領収書には以下が含まれます。

- ❑ 明快なラベル（「支払領収書」）または税務当局が設定した同等の用語
- ❑ 元の請求書番号（1 つまたは複数）送金通知および（または）前回の支払領収書へのその他の参照
- ❑ 支払いを受領した日付
- ❑ 受領した金額
- ❑ 残りの支払金額
- ❑ 関連する請求書が全額で支払われている場合、支払領収書に明記して、一部のお客様の混乱を防ぐ必要があります。



支払領収書の新しいフロー



手動アップロード

支払領収書 (*complemento de pago*) をアップロードするためのオプションが Ariba Network に表示されるようになります。

- ❖ CFDI 請求書と同じウィザードベースのシンプルなユーザーインターフェイスが提供されます
- ❖ ユーザーは、各自のファイルシステムを参照して、対応する支払領収書ドキュメントを選択することができます
- ❖ XML ファイルアップロードサポート
- ❖ 任意で、CFDI の PDF 形式をアップロード可能
- ❖ 以下の基本検証を実行: 最初に、バイヤーとサプライヤの税 ID が一致するよう、Ariba Network のレコードに照らして検証されます



バイヤーの法的検証

ウィザード内の最初の手順の一部として法的検証が実行されます。

- ❖ PAC を介してバイヤーの法的検証を同時に実行
- ❖ ファイルが正常にインポートされる
- ❖ または、画面にエラーが表示される。会計に関する検証エラーが説明とともに表示されます。スキーマに関する検証エラーについても同様です。



PDF & ビジネスに関する検証

ユーザーによって PDF がアップロードされていない場合、対象の支払領収書のグラフィック表示が PDF 形式で自動的に生成されます。

- ❖ PAC で実行
- バイヤーは、任意で、EDICOM ポータルを介して標準ビジネスルールをまとめて有効化 (すべて有効化またはどれも有効化しない) し、支払領収書とリンクされた請求書間の一貫性を確保することができます。
- ❖ AN 上に請求書 UUID が必要
- ❖ 領収書の重複は不可
- ❖ 支払が 1 つの場合、支払領収書の金額 = 請求書金額。支払が 2 つ以上の場合、支払領収書の金額 <= 請求書金額
- ❖ 支払領収書通貨 = 請求書通貨
- ❖ 支払領収書と請求書間の税 ID は一致



cXML サポート

ドキュメントは AN データベースに保存されます。

- ❖ Ariba Network で *PaymentReceiptConfirmationRequest* cXML を介して新しいドキュメントの種類をサポート
- ❖ cXML 形式の取引への変換をサポート
- ❖ 支払フィールドと請求書への参照をサポート
- ❖ Ariba Network でのみバイヤーが支払領収レポートを利用可能
- ❖ サプライヤはレポートを使用できません
- ❖ AN UI でこのドキュメントを表示するには、さらに新しい IT スタックを行う必要があります

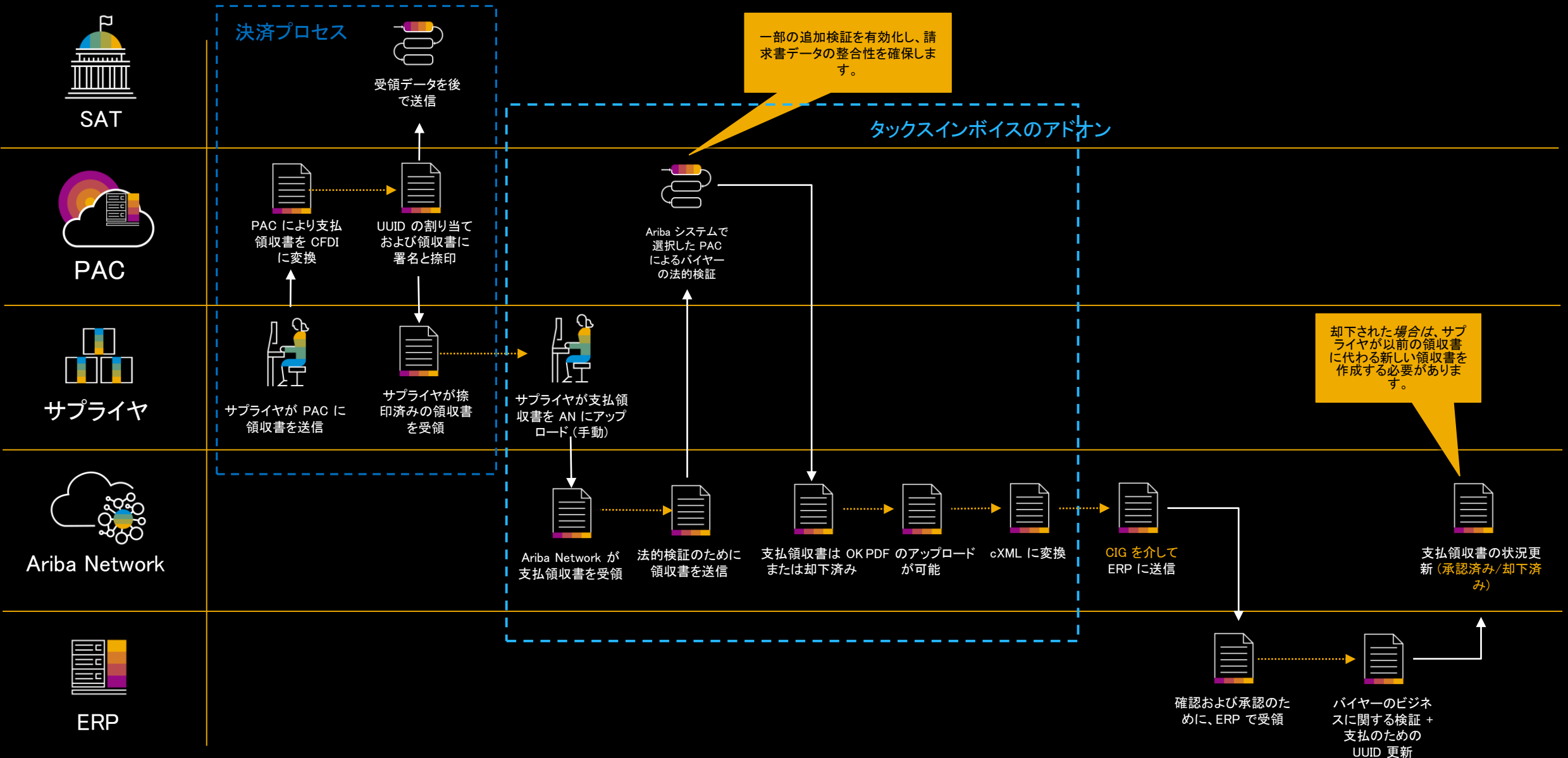


バイヤーへの送信

支払領収書の検証に成功すると、cXML 支払領収書がバイヤーに送信されます。

- ❖ すべての検証をパスした支払領収書に新しいルーティング設定を追加
- ❖ バイヤーによって、*StatusUpdateRequest message* を使用して最終状況 (*[承認済み]* または *[却下済み]*) が AN に送信され、サプライヤに表示が可能に
- ❖ 電子メールでサプライヤに通知
- ❖ SAP Ariba Cloud Integration Gateway で ERP との連携をサポート

新しい支払領収書のデータフロー



その他の強化の詳細

1. AN の新しい取引ドキュメントとして支払領収書がサポートされます。
 - 新しいトランザクション [PaymentReceiptConfirmationRequest](#) は cXML 形式のドキュメントの種類です。
 - 支払領収書に関連する新しいルール: 「一部支払済みまたは支払済みの請求書に対して支払領収書を送信することサプライヤに許可する」。有効になっている場合、電子メールでバイヤーに送信されるよう機能が上書きされます。
 - サプライヤは支払領収書を送信して 1 つまたは複数の請求書に対する支払を確認することができます。
 - サプライヤは、複数の支払領収書を送信して 1 つの請求書を確認することもできます。
2. *CFDI Complemento de Pago* を支払領収書 cXML 取引ドキュメントにマッピングします。
 - *CFDI* の種類 = *P*
 - *CFDI* 形式を cXML に変換 (メキシコ固有のフィールドを含む)
3. 支払領収書に新しいルーティング設定を追加します。
 - バイヤーは cXML ドキュメントとして支払領収書を受領可能
 - [cXML の投稿] チャンネルを使用したすべてのエンドポイントが [範囲内] に相当。CIG によりバイヤー連携のためのソリューションを提供
 - [配送待ち] チャンネルは [範囲外] に相当 (このトランザクション用の CI アダプタ/アドオンのサポートがないため)
 - バイヤー管理者によるドキュメントルーティングの設定により、この取引ドキュメントの種類をサポート
4. バイヤーから支払領収書の状況更新を受領できます。
 - [承認済み] または [却下済み] 状況の [StatusUpdateRequest](#) を Ariba Network に送信



その他の強化の詳細（続き）

5. 状況更新の通知をサプライヤに送信します。

- 通知設定 [サプライヤアカウント] > [設定] > [通知]
- 支払領収書の状況が更新された場合
- 支払証明書がバイヤーに却下された場合

6. 支払領収書の新しい AN レポート

- **支払領収書:** Ariba Network が受領した支払領収書に関する請求書支払情報を提供する基本レポート
 - [状況] でフィルタリング
 - 日付範囲 – [過去 24 時間以内]、[過去 1 週間以内]、[過去 1 カ月以内]
 - サプライヤのフィルタ – 単一の選択、すべて、サプライヤグループ

7. AN 請求書レポートの強化

- **請求書:** 既存の請求レポートの強化により、支払領収書なしに請求書を特定
 - 新しいチェックボックスで、**支払領収書なしで請求書**をフィルタリング

注:

- 上記のレポートはバイヤーのみ使用可能です。

